

1991
町勢要覧



御宿

O N J U K U



発刊のことば

21世紀を間近にひかえ、国際化・情報化・高齢化の進展等により経済社会が大きく変貌しつつある今日、町行政は、住民の皆様のニーズを的確に把握し、増大・多様化する行政需要に適切に対応することが求められています。

いま御宿は、豊かで活力ある“自然と産業が調和した海の保養地・御宿”の創造を目標とし、その実現に向かって多彩な事業に取り組んでおります。

この要覧は、こうした町の過去・現在・未来を皆様にお伝えすると同時に、これからの町づくりに対し、積極的にご参加いただくことを願ってお届けするものです。

御宿町は、歴史と文化、さらに黒潮おどる太平洋、豊かな緑、温暖な気候等、自然環境に恵まれ、素晴らしい発展の可能性を秘めたまちです。

この美しい私たちのふるさとを、もっと魅力にあふれた町にしていくために——21世紀へ向けて、私たちは今後も住民の皆様と一体となって、諸施策の推進にあたります。

どうぞ、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成3年3月

御宿町長 滝口 栄蔵



海とともに生きてき

Town Handbook of Onjuku

With the 21st century close at hand, our society is changing largely along with the internationalized, information oriented, and aging environments. Under the circumstances, the municipality of Onjuku is required to provide its residents with varied municipal services taking their needs into consideration adequately.

The town authorities are striving to re-create Onjuku into an affluent and vitalized seaside resort well harmonized with nature and industrial facilities.

This handbook aims to present residents with information of Onjuku's past, present and future, as well as to ask them to participate in our town-making actively.

Onjuku is blessed with its history, culture and abundant natural environments such as the beautiful Pacific Ocean, affluent greenery and mild climate, and has a fair chance of prospering in the future.

To make our home town more attractive, we promote several projects together with you, the residents, toward the 21st century.

We are most grateful for your support and cooperation.

March 1991
Eizo Takiguchi
Mayor of Onjuku



町章（昭和40年制定）
町名の頭文字「オン」を図案化したもので、合併した3町村が丸く和合し、未来に向かって大きく発展することを表わしています。

創案者 御宿町六軒町 藤江真一



町の木・キョウチクトウ
夏の強い日差しをはね返すように紅く咲き乱れるキョウチクトウの姿は、青空をバックに強烈な印象をあたえてくれます。非常に丈夫な植物で、南国ムードを漂わせるその姿は、御宿の町並にマッチしています。



CONTENTS 目次

自然と産業が調和したマリンリゾート	2
夢とロマンと郷愁と	4
自然、わたしたちの宝物	6
文人たちが愛したまち	8
御宿こども未来博	10
<hr/>	
[基盤整備] 明日への基盤をしっかりと	16
[生活環境] 便利な環境、豊かなくらし	18
[産 業] まちは活気に満ちている	20
[福祉・保健] ふれあう心があたたかい	22
[教育・文化] 健やかに育て、心とからだ	24
[行政・議会] 町民と一体となった行政を	26
[姉妹都市] 友情は海を越え、山を越えて	28
<hr/>	
歴史・祭・文化財	30
グルメ族には、たまらないあの味この味	32
<hr/>	
資料編・数字で見る御宿の姿	33
ONJUKU POINT MAP	41

た、そして明日も...

自然と産業が調和した



マリンリゾート

御宿町のプロフィール

約2キロメートルの白い砂浜と変化に富んだ海蝕海岸、そして緩やかな丘陵地に囲まれた御宿町は、古くから海の保養地として多くの人々に愛されています。

大正3年に町制施行し、御宿町となりましたが、明治維新より前は、浜・須賀・久保・六軒町・新町・高山田・西林寺の7部落を総称した御宿郷と言われていました。

さらに遡ること、慶長2年(1597年)の検地帳によると御宿郷は、浜・久保・高山田・西林寺の4部落であったことがわかります。

現在の御宿町は、昭和30年3月の町村合併で隣接する浪花村の一部と布施村の一部とを加え、誕生しました。

「御宿」という地名の由来は、昔、北条時頼が諸国行脚の際に立ち寄り、あまりにも景色がよいので一泊され「御宿せし そのときより人とはば 網代の海に夕影の松」と一首を詠じ、この歌から御宿の名が起ったという説が残っています。

Profile of Onjuku

Surrounded by a 2-kilometer white sand beach, an eroded cliff, and hills with gentle slope, Onjuku has been loved by many people as a seaside resort for a long time.

Onjuku was organized as a township municipality in the 3rd year of Taisho era (1914). But before the Meiji Restoration, this area was called Onjuku-go covering seven small villages called Hama, Suga, Kubo, Rokkencho, Shinmachi, Takayamada and Sairinji.

According to the land register prepared in the 2nd year of Keicho era (1597), Onjuku-go consisted of four small villages of Hama, Kubo, Takayamada and Sairinji.

The present geographical area of Onjuku was set by the municipal reform in March of the 30th year of Showa era (1955) merging a part of Naniwa-mura and Fuse-mura.

It is said that the name Onjuku came from a tanka-style poem written by Tokiyori Hojo (1227-1263), the then strong man, when he visited Onjuku and stayed for a night. Since the poem praising the landscape of the place begins with a word "Onjuku" (literally 'lodging'), people started calling the place "Onjuku."

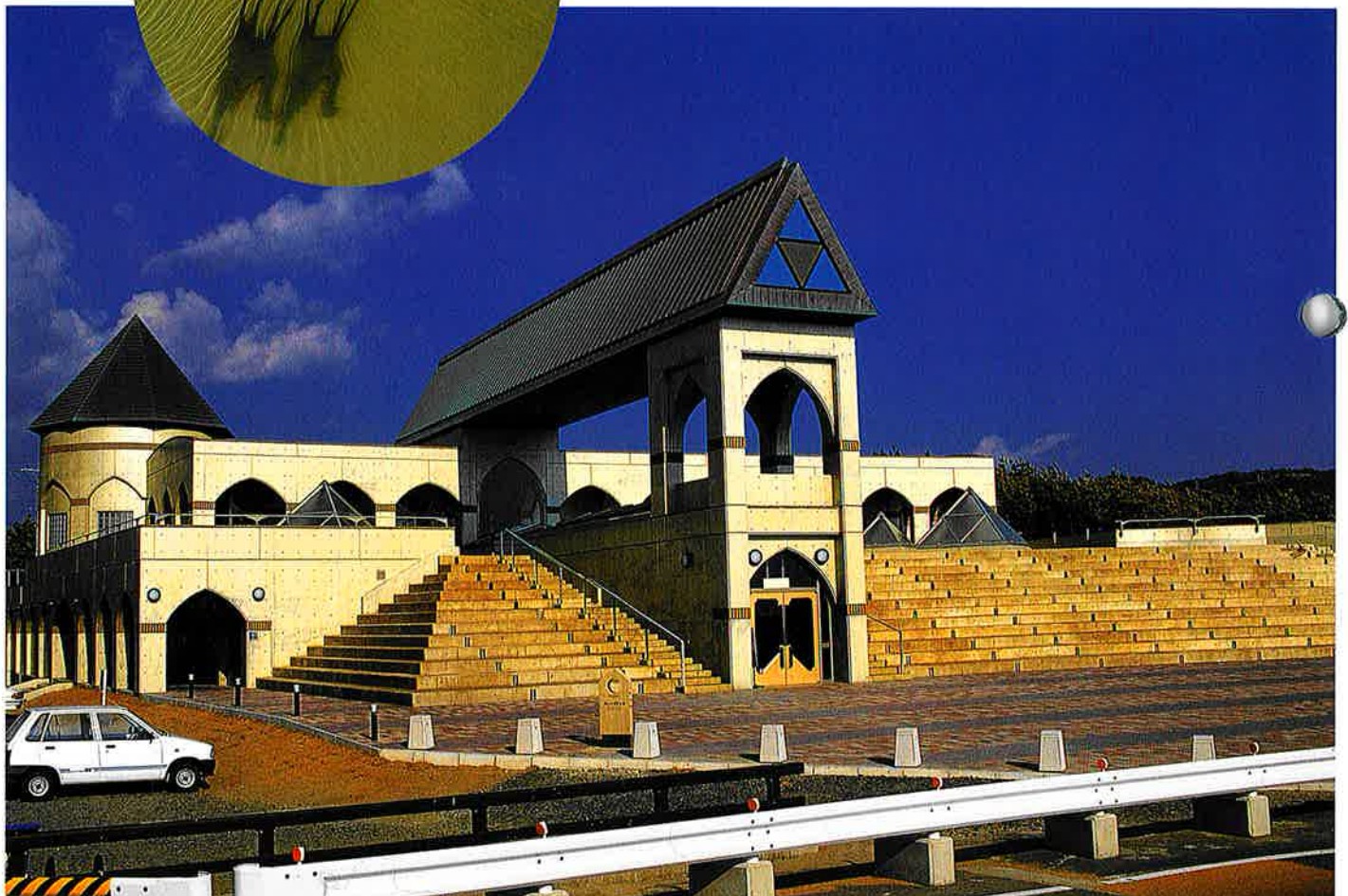




月の沙漠記念像改修と月の沙漠記念館完成を記念しての盛大なイベント



夢とロマン



月の沙漠記念館



ミス月の沙漠コンテスト



多くの方々の賛同をいただきブロンズ像に改修された月の沙漠記念像

と郷愁と



加藤まさを展示室



大正ロマンをイメージした記念館内

♪♪月の沙漠を、はるばると旅の駱駝
が行きました。♪♪

目を閉じて口ずさめば、その情景が
浮かんできます。異国情緒あふれるこ
の歌の舞台が、ここ御宿の海岸である
ことを、とても誇りに思います。その
風情をいつまでも残したいと思います。
この歌の作者・加藤まさをは、大正中
期より昭和前期にかけて一世を風靡し
た叙情画家、そして叙情詩人、そのみ
ずみずしい感性が多くの人々に愛され
ました。その才能は絵や詩ばかりでな

く、童謡、小説、歌謡曲など多彩な分
野へと発揮され、数多くの作品を残し
ています。「月の沙漠」は大正12年に
発表された作品で、彼は晩年、その舞
台となったこの町に移り住み、80歳
の生涯を終えました。

「月の沙漠記念像」、そして新しく建
てられた「月の沙漠記念館」は、彼の業
績を偲び、讃えるものであり、御宿の
白い砂浜をいつまでも守りたいという
気持ちが込められています。



町営テニスコート



丘陵地にはゴルフ場も

自然、わたし



御宿花火大会



◀パラセーリング



サーフィンやジェットスキーなどマリンスポーツを楽しむ



「アミーゴ・オンジユク」歓迎塔



◀マリンフェスタ御宿(海開き)▶



たちの宝物



渚の火祭り

潮風は、私たちに優しい海の香を運んでくれます。この町の優しさは、この風が育ててくれたものかもしれません。自然と人が暖かい関係をたもっている町。私たちは、この町が大好きです。

春夏秋冬、それぞれにこの町は魅力がいっぱいです。新鮮な海の幸、海水浴、サーフィン、テニス、サイクリング、釣り。誰でもいつでも楽しめるオ

ールシーズンリゾート御宿。自然がいっぱいの心温まる町です。伸びやかに広がる海岸線と眩しいほどの自然が私たちの宝物です。

ここで生まれるたくさんの物語が、できるだけ多くの人の心を暖かくすることができるように——いつも、自然との対話を忘れずにいたいと思います。この町を誇りに思いながら暮らしていきたいと思います。

文人たちが

多感な青春時代の幾夏かを御宿で過ごした叙情画家・詩人、加藤まさを。彼が、御宿の淡い月光に照らされた白い砂浜をモチーフに、あの有名な『月の沙漠』の詩を綴ったことはあまりにも有名です。1923年に発表された詩に、佐々木すぐるが曲をつけ、この名作が誕生しました。幻想的で、異国情緒あふれる『月の沙漠』。中央海水浴場の一



角にある「月の沙漠記念像」は加藤まさをと同郷の彫刻家・竹田京一によって作られたもので、王子様と王女様を乗せて旅をする駱駝の像と三日月型の歌碑とからなっています。また最近、「月の沙漠記念館」もオープンしました。「月の沙漠」のふるさととして、御宿はいつまでもその風情を残していくことでしょう。



加藤まさをばかりでなく、この御宿の風土と人情に心をひかれた文人は数多くいます。



作家・尾崎士郎は、あの俠気と哀感に満ちた大ロマン『人生劇場』の“愛欲編”を、御宿の名刹・妙音寺で執筆しました。「ここは外房州の一漁村—その村はずれにある暁角寺の山門の…」という書き出しで始まり、砂浜のできごとや祭りの様子などが描写さ



尾崎士郎「人生劇場」



愛したまち

れています。また、自伝随筆集の『小説46』では、「私が千葉県の御宿海岸で過ごした生活は、将来の作家生活に、新しい方向を定める重大な機縁となっ

ます。「週刊新潮」創刊号（昭和31年2月19日号）の表紙を飾った『上総の町』の絵は、ほのぼのとした御宿の風景を描いたものです。



谷内六郎「上総御宿」

た……。私たちの本堂裏の部屋の前に小さい池があり、その池の岸に紫陽花の咲いていたのが今でも頭にこびりついている」と御宿を回想しています。

画家・谷内六郎は童画風のタッチで見る人に郷愁を誘う作品で有名ですが、彼もまた御宿の風物を愛した一人です。1939年ごろから知人宅に身を寄せ、この町をモチーフとした作品を描いてい



加藤まさを



洋画家・浅井忠

明治時代に活躍した洋画家・浅井忠。アントニオ・フォンタネージの詩情あふれる自然主義を受け継ぎ、特に水彩

画では他の追随を許さないと評された大家ですが、彼もまた、1897年に御宿を訪れています。しかし、その際に制作された『御宿海岸』は惜しくも現存していません。

馬や静物で知られる油絵画家・坂本繁二郎は哲人画家と評され、沈んだ色調の中に暖かい情感が通う作風で有名です。彼も1912年、御宿で画作を行い、『うすれ日』『海辺の人』『魚を持ってきた海女』などの作品を残しています。

多くの文人たちの心をとらえたわが町。清らかな海は、昔と変わらない姿で私たちを包んでくれます。これから、この町から新しい文学や芸術が生まれていくような気がします。





御宿こども



ぼくの夢 御宿町

御宿小学校6年 永野 忠仁

すみきった青空、真青な海、真白な砂浜、美しい緑、それは、ぼくの町御宿町。月の沙漠像を見ると、思わず、「月の沙漠をはるばると……」の歌を口ずさみたくなる。

ぼくが生まれて、育った、ぼくの大好きな御宿町。ぼくのふる里、みんなのふる里御宿町は、すばらしい自然の中によさがいっぱいある。

21世紀になると、リニアモーターカーが走り、御宿駅には、今以上にたくさんの人々がやって来る。東京から15分で御宿に着いて、今のままのきれいな海、魚がいっぱい泳いでいる海、美

しい砂浜に遊びに全国から、世界中のいろいろな国から人々が自然に恵まれた国際都市御宿へと行き来する。ぼくたちは、メキシコや、ドミニカの人達と友達のように、国境をこえ、世界中の多くの国の人達と友達になる。ぼく達も外国へ出かける。外国に行きたい時には、千葉市までパスポートをとりに行かなくても、御宿町の役場で、かん単に手続きができる。成田空港まで行かなくても、自分の思う時間に、御宿海岸から、自家用のジェット機で飛びたつことができる。騒音が全くなく、空港のような場所もとらない。美しい自然は、そのままである。

学校では、小学校から英語を習い、中学校では、フランス語やドイツ語などを習い、自由に外国の友達と、話が

できる。幕張メッセのようなコミュニティセンターが設けられ、国際都市御宿に、各国の首相が集まり、国際会議が開かれる。ぼく達は、その会議の様子を自由に見に行くことができる。

外国から、マドンナや、マイケルジャクソンなどのスターや、文化人をよび、全国や、外国から大勢の人が御宿にやって来る。

道路には、海陸両用の自動車が走り、海の上も、プロペラのついた自動車で、行きたい所へどこへでも行くことができる。車の中には、あぶない物がすぐキャッチできるようになっていて、テレビの画面に映し出され、合図が送られるので、おそろしい交通事故などは、一つも起きる事がない。車やプロペラの騒音がなく、大気汚染はなく、空気

21 世

御宿町の色に向かって

御宿中学校2年 山口 文

いまにも吸いこまれてしまいそうな青。浄化された白。こわいくらいの緑。これが現代の御宿の色です。この、海・砂浜・山の3色がかもしだす雰囲気はどこかしらエキゾチックで、どこの町にも劣らず、すばらしいものです。何もかも、めぐまれているといっても過言ではありません。

しかし、今。わずかながらも、私達の気付かぬ小さな場所で環境破壊がおこっていることはご存知でしたでしょうか。辺りを見渡してみると、ほんのわずかですがゴミが落ちているではありませんか。捨てる人がいて拾う人が

いないのもこまります。それに、生活用水。使った後の洗剤に混じって、色色と細かなものが出てきます。ゴミから緑の破壊、また白の破壊もしていますし、生活用水から青の破壊をしていることになるのです。つまり3色。海・砂浜・山を私達自身の手で失いつつあるのです。それはわずかながらですけれども……。このことを知ったとき私はどんなに悲しかったのでしょうか。これはみな、ちょっとした心遣いで、直ることなのです。ちょっとした心遣いから、以前にも増して、あの御宿の色が広がっていくのです。こんなにすばらしいことの他にも、もう一つ、最高にすばらしいことがあるのです。それは、心が洗われるとでもいいでしょうか。心が澄みきっていくのです。だれ

にでも、暖かく、優しく、とびきりの笑顔向けられる。これこそ、リゾートの第一歩なのではないでしょうか。私はそう思います。

それに、漁業としての御宿としても……。美しい海からおいしい、あわび、さざえ、そして、まぐろやかつおの魚。あの雄大な青から、苦勞して海女さんや漁師さんがとってきてくれたものです。自然の恵みを、御宿にきているお客さんに味わってもらうのは、とても大切なことだと思います。それによって、お客さんみんなが暖かい気持ちと、そしてもう一つ、優しい気持ちを持たせたら、どんなに幸せでしょうか。この二つの気持ちから、どこかつかしい気持ちになれば、それはその人にとって、御宿は心のふるさとになるもの



は、さすががしくきれいである。

海は、どこの海よりも美しく、ずっと先まですんでいる中をたくさんの魚が泳ぎ、海底には、海洋動物園があり、パンダやライオン、トラ、ゴリラ、バッファロー、きりん、しま馬、らくだなどたくさんの動物が、子供や大人といっしょに、仲よく遊んでいる。深海1万メートルである。ほく達は、陸と海の中を自由に行き来している。

21世紀には、空と陸と海が一体となり、思いのまま自分の行きたい好きな所へ、好きな時間に、好きな乗り物で行ったり来たりでき、人と人とのふれあいを大切に「御宿」。

いつまでも、美しくすみきった青空、真白な砂浜、美しい海、それが21世紀の御宿。



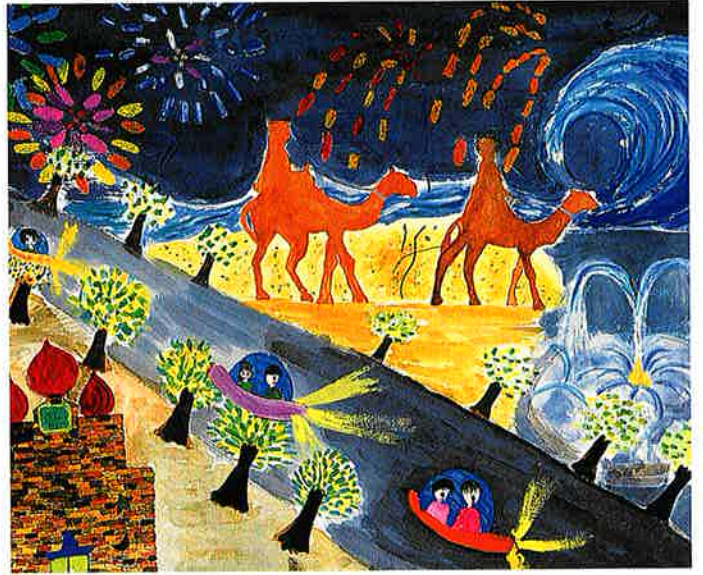
紀に花開く、

だと私は信じています。

だから、私は、現代の御宿から、未来の御宿に向かって、他のリゾート地とちがった雰囲気の色を守るとともに、お客さんにとって、この御宿町は、幸福な所、きずなを強める所、そして愛を深める所になってほしいと思います。心のふるさとになってほしいと思います。「さびしくなったら、御宿にいてみよう。新しい出会いがあるかもしれない。朗らかな人達が自分を救ってくれるかもしれない。」こんなふうに思われる御宿を、私達の手で作りあげていきたいと思います。陽気で朗らかで、暖かく優しい、赤色の自分をつくりあげていきたいです。この4色の色に、明るい未来を築きあげたいと思います。

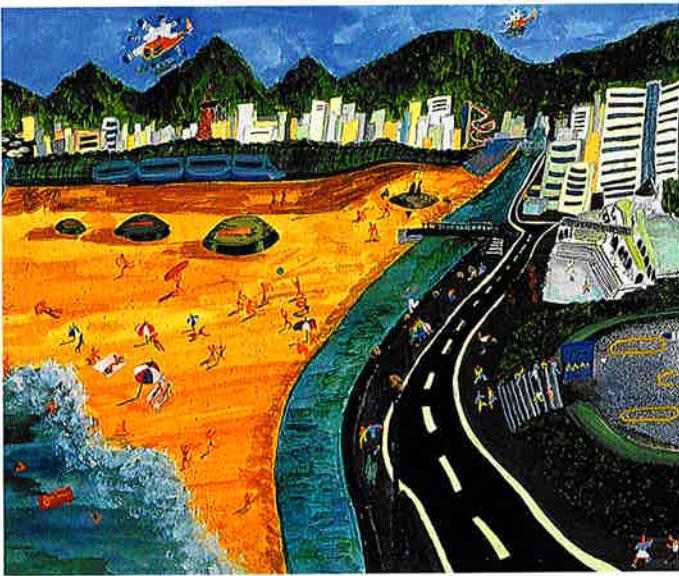


TOUCH THE BIG DREAM



布施小学校 6年 佐藤 由香

僕の夢・きみ

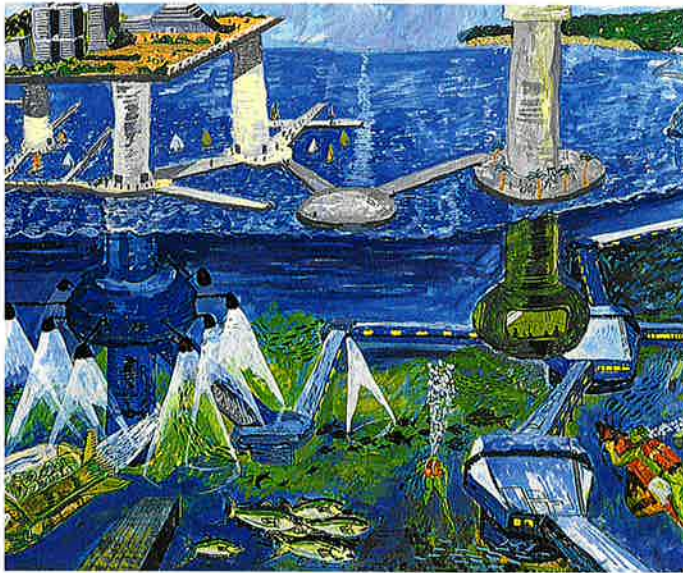


御宿中学校 3年 齊藤 輝正

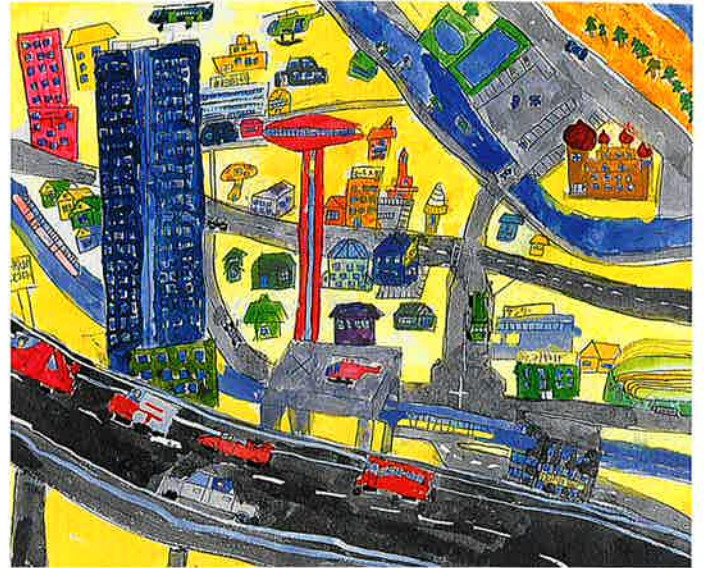


御宿中学校 3年 引間 貴詞





御宿中学校 3年 渡辺 真弘

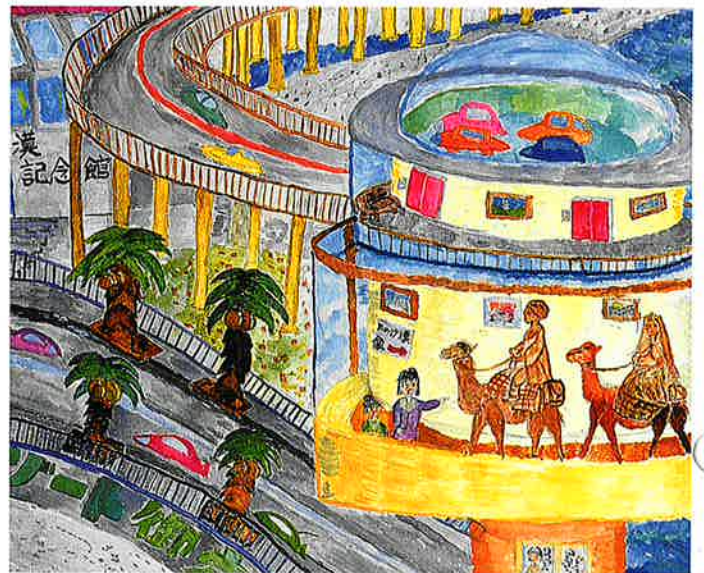


岩和田小学校 5年 瀬川 裕之

の 夢



御宿小学校 6年 岩瀬 文子



岩和田小学校 6年 木村 昌代



手をつなごう未来を担う子どもたち



未来博 '91



明日への基盤をしつかりと。

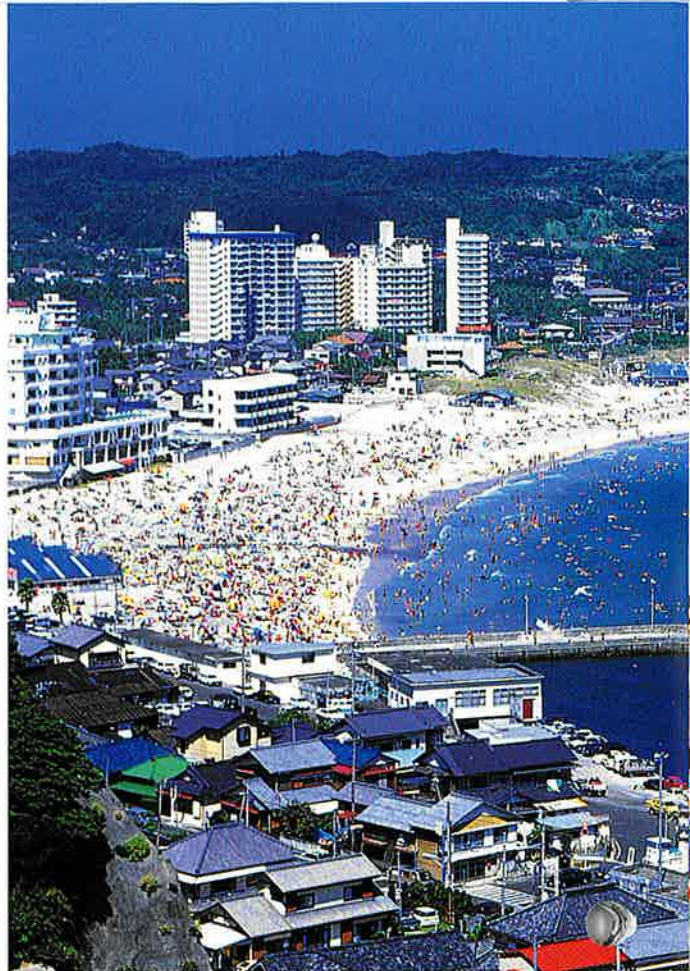
[基盤整備]



VOICE

まつもと まゆみ
松本真弓さん
(会社員・26歳)

私は、楽しいことや、悲しいことがあると、御宿の海に行きます。東京にいる今でもそんな時は、帰って御宿の海を歩きたくになります。きらきらした海を眺め、白い砂浜を歩き、知らない人と言葉を交わすと、もっと楽しくなれるんです。誰にとっても、御宿が故郷じゃない人にとっても、御宿の海は、いつでも心にゆとりを与えてくれる、そんな所であって欲しいと思います。



自然と産業が調和した町づくりへの基盤整備



水道拡張事業による第二配水池を建設



地曳橋拡幅と歩道整備



よくなる海浜環境一月の沙漠通り開通式



新しいライフスタイルに対応した御宿台分譲地



昭和62年の総合保養地域整備法の成立を受けて、千葉県はリゾート地域整備構想を発表し、御宿町は「海浜スポーツリゾート」の重点整備地区に指定されました。これと併行して、町では「御宿マリンリゾート基本構想」を策定し、中・長期的な開発整備の基本方向を定めることになりました。

美的感覚を持った土地利用やデザインを検討し、海の保養地にふさわしい景観形成を図ること。そしてその中で、自然と文化の中にある地域住民の福祉を高めていくこと。この二つを目標に今後、基盤整備を進めていく考えです。

なかでも、道路の整備は基盤整備の重要な課題です。先頃開通した、町道1165号線“月の沙漠通り”は産業振興や交通安全対策に加え、「月の沙漠記念館」と調和した小公園的な機能を持たせるという新しい試みをしています。

今後、この通りに続く地曳橋から砂丘橋までの清水川沿いの歩道整備事業、岩和田地先から大原町小池地先に通じるリゾート関連道路や新しい県道、実谷・立山線の開設工事、1・2級町道の舗装修繕、生活関連道路の整備等、生活基盤の整備を進めていきます。

これらの事業はすべて、住民の日常

生活を支え、住み良い地域社会を形成するための基本的な投資です。

また、御宿町は昭和56年に国土利用計画法に基づく「都市地域」に編入されており、合理的な土地利用と環境保全を目的とした都市計画区域の編入について、協議を重ねていく必要があります。

そして、これらに併行して、広域消防体制の整備、南房総広域水道企業団の発足、さらにはJR外房線複線化の促進など、市町村の枠を越えた広域的な事業にも取り組んでいます。

便利な環境、豊かなくらし。

[生活環境]



VOICE

いし い かずお
石井一恵さん
(主婦、栄養改善会長・50歳)

御宿にお世話になって、もう少しで30年になろうとしています。都会で生まれた私にとって、嫁いで来た当初は寂しいところと感じましたが、自然が多くて、今はとっても良い所と心底思っています。通信簿じゃないですが、5段階評価でいうと3くらいでしょうか、ぜいたくを言ったらきりがありません。

環境問題が地球規模でいわれている現在、町でも河川浄化に力をいれていますが、主婦の立場から身近に考えていこうと思い、生活雑排水の浄化に取り組もうとしています。いつまでも、美しいふるさとであってほしいですし、私たちにもその責任があると思います。



きれいな海や川を守ろう—錦鯉の放流



ゴミのないきれいな町づくり(上:粗大ゴミ収集 下:清掃センター)



防災訓練



地域防災を担って(消防訓練)



堺川生活排水浄化施設



上水道の農村地域への拡張が進み、町の生活環境整備は大きく前進しました。そして、さらに快適な環境づくりのための努力が始まっています。上水道は、今後、都市化の進展やリゾート法による地域開発計画の進行などにより大幅な水需要の伸びが見込まれているため、新規水源確保が大きな課題です。しかしそれも、夷隅・安房地区の17市町村共同の「南房総広域水道企業団」の設立により確かな見通しがたちました。これが房総導水路(長柄ダム)を水源とした用水供給事業であり、平

成7年度一部通水を目指し工事が進められています。

また、御宿町では“きれいな町づくり”のために、さまざまなごみ対策を実施しています。町民の皆様の協力による“町民清掃”や“ごみゼロ運動”、“リサイクル運動”も盛んで、きれいな町にという気持ちはどこにも負けないものと自負しています。

さらに、河川や海水の水質を守るため、“水をきれいにする運動”も展開中です。小型合併処理浄化槽の設置促進、公共下水道整備の早期実現、水質浄化

の検討等、たくさんの課題に積極的に取り組んでいます。

この他に積極的に進めているのが“花いっぱい運動”です。「花と緑の街づくり推進会議」を中心に、リゾートとしての御宿にふさわしい花を再考。気候、風土を踏まえ、四季を通じて全地域を花で埋める「フラワーソフト計画」を作成していく予定です。

このように町では、現在の環境をひとつひとつ点検し、デザインしながら、新しい環境の創造にむけて確実に前進していきたいと考えています。

まちは活気に満ちている。

[産 業]



VOICE

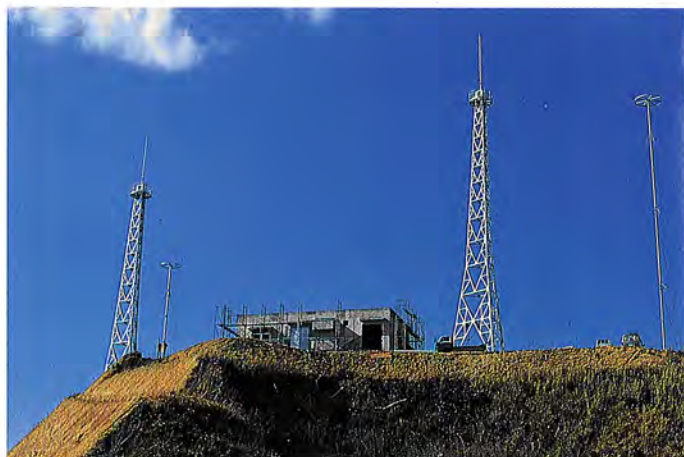
おおたにのぶゆき
大谷信之さん
(ペンション経営・37歳)

御宿に生まれ育って、この町で生きていきたいと思っています。海がきれいで、緑も多い、そして人々の人情味豊かな、この町が大好きです。

5年ほど前に、以前やっていた民宿から模様替えしてペンション経営を始めました。お客様にも、この環境が喜ばれています。自然の美しさは御宿の財産です。この環境を守って、将来においても、自然と共存共栄のできる、いわば「地球にやさしい町」になってほしいと願います。



漁港施設は年々充実



建設進む県営水産情報無線局



農業公社牧場事業により整備された畜舎



機械化・兼業化が進む農業



花やキウイフルーツ、柿など果樹栽培に取り組む農家も

御宿の農業は、米を主体とした農家が主流を占め、他の農作物は少ないのが特徴です。この現状から、良質米の栽培奨励と生産コストのダウンに努めることが当面の課題です。その一方でリゾートにふさわしい、付加価値の高い農作物の生産を進めることが必要であるといえます。

畜産業については、農業公社牧場事業による畜舎の整備や草地造成事業の完成により、今後安定した経営が期待できるようになりました。

林業は、その基盤となる林道の整備が急がれています。

また、御宿の基幹産業ともいえる水産業については、すでに関連施設の整備が整い、今後は、限られた資源をいかに計画的に生産に結びつけるかが大きな課題です。そこで、磯根漁業振興のための管理型漁業を推進していきたいと考えています。

一方で、房総リゾートの創造が開始され、町では地元産業への波及効果に大きな期待をよせています。町活性化のために、あらゆる方向から、リゾート御宿の活用を図ります。

また、商業の活性化を図ることも大切な要因であるといえます。ふるさと

産品作りを積極的に行うほか、消費者のニーズに応えられる都会的センスを有する商店街整備や植栽事業、遊歩道の整備等、商業基盤の整備を行います。

さらに、工場数の減少が著しい工業については、リゾート関連企業の誘致を積極的に行い、人口流出の防止を図っていきます。

このように、それぞれの産業が互いに相乗効果をもたらし、町が活性化していくよう、新しい視点で産業の振興を、と考えています。

[福祉・保健]

ふれあう心があたたかい。



VOICE

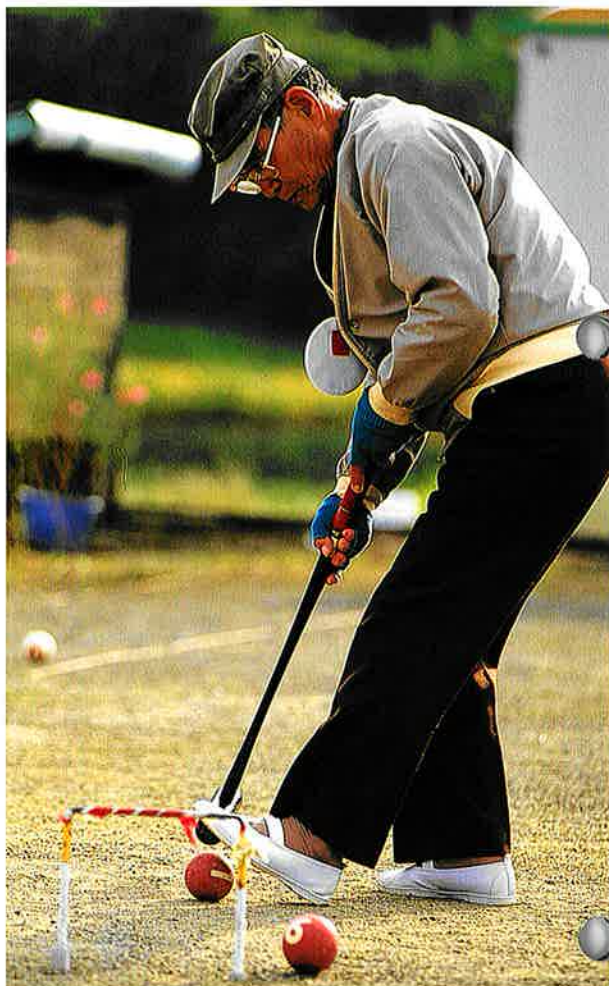
たなかはるみ
田中晴美さん
(特別養護老人ホーム勤務・25歳)

一時、都会で寮生活をしていたことがあるんですが、時々無性に海が見たくなるんです。御宿っ子の私は、海を見ると心が落ち着きます。いろいろな所の海へ行ったけれど、やっぱり御宿が一番素敵です。最近はリゾートのイメージのせいか、“おしゃれ”で若い人の集まる魅力も生まれていると思います。

仕事柄、お年寄りと接する機会が多いのですが、この町のお年寄りは威勢がよくて、元気いっぱい、隣り近所の温かい人々に囲まれて幸せそうに見えます。でも、これからは高齢化社会、福祉についても十分に目をむけてほしいと思います。お年寄りの笑顔が、町の明るさとか町全体の幸せのバロメーターになるのでは？



健康で生きがいのある老後を



ゲートボールで体づくりと仲間づくり



男の料理教室も好評です



お年寄りを招いての給食会（御宿小ランチルーム）



独り暮らしのお年寄り宅に緊急通報装置を設置



老人ホームを慰問する児童



保健事業も年々充実

世界に類を見ないテンポで進む人口構造の高齢化、住民意識や価値観の変化に対応して、福祉行政の充実を求める声は、年々高まっています。

御宿町では現在、その第一歩として地域福祉センターの建設を進めています。この地域福祉センターはお年寄りをはじめとする誰もが、気軽に利用できる施設であり、高齢化社会における地域づくり、生きがいづくりの拠点ともいべき施設です。ここではお年寄りの生きがいづくりのため、老人クラ

ブを中心としたさまざまな活動やふれあいを応援していく予定です。

このほか、町福祉協議会との連携による“地域ぐるみ福祉”ネットワーク事業も、学校や地域での理解を得て充実しつつあります。独り暮らしのお年寄りのご家庭へ「緊急通報装置」の設置、身障者や寝たきりの方々の社会参加を進める「福祉カー」の貸出制度、「入浴・ふとん乾燥サービス」、ホームヘルパーの派遣など、きめ細かな“福祉環境”の整備が、いま着々と進んで

います。

また、町では、疾病の早期発見・健康の保持増進のため、各種検診や健康診断、健康相談を行っています。また、疾病の経過の分かる“主治医”的な病院や医師を持つことを勧めています。特に成人病の予防については、栄養・運動・休養の3点を中心とする日常生活習慣を改善していくなど、住民ひとりひとりが主体となって健康づくりを考えていけるよう積極的に取り組んでいく考えです。

[教育・文化]

健やかに育て、心とからだ。



VOICE

うちやま ひろし
内山 浩さん
(商店経営、PTA役員・44歳)

この町の良いところは、自然に囲まれている環境の良さと人の心の温かさです。人を育てるのは、教育です。幸いに子供たちはのびのびと学んでいますが、ソフト面とともに、校舎などハード面の整備も充実してほしいと思います。

夏の観光地として有名になった御宿ですが、観光一辺倒でなく、この町に住んでいる人々との調和がとれた、落ち着いた住みやすい町であってほしいと思っています。



スポーツ少年団も活発に



町民文化のつどい・町コーラス愛好会



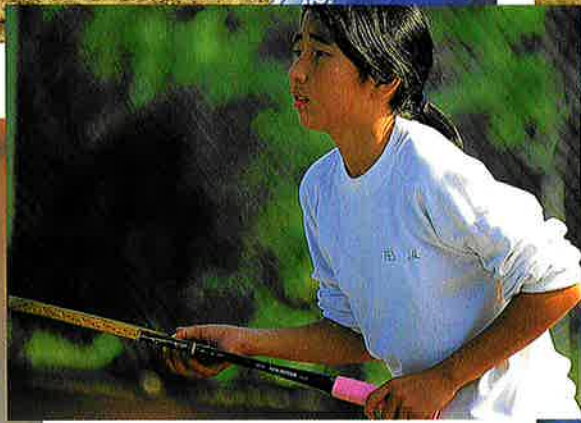
文化祭では、絵画・書道・写真などの作品展示のほか囲碁・将棋大会も



海洋センタープールでの水泳授業



各種大会や合宿に利用される町営野球場



親子で参加(町民体育祭)

今、心身ともに健康で知性、情操、体力のバランスのとれた、国際社会に対応できる人づくりが求められています。中でも情報化社会の進行にともない、OA機器を導入した教育を進める必要があります。町づくりは人づくりといわれます。夷隅郡統合教育委員会が解散され、各町それぞれに教育委員会が設置される今、それぞれの町の特徴を生かした教育行政が必要になっています。町では学校教育について、教

育現場と父母が一体となり、町の特性を生かして人間性豊かな児童生徒の育成を行うことを目標としています。そしてすでに、そのための教育環境の整備を目指して、さまざまな事業が始まっています。

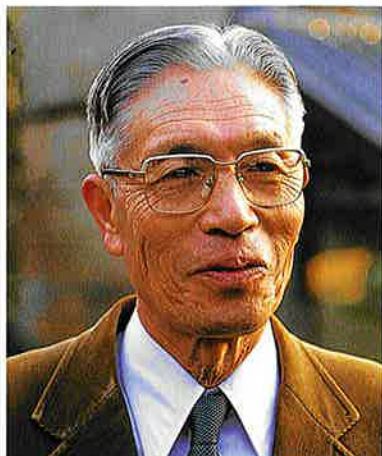
また、自由時間の増大などの社会的背景から、“生涯学習”の気運も高まりを見せ、その内容も、ますます多様化、高度化しています。

このような背景の中で、公民館は地

域の人々の身近な学習や文化活動の場として、中核的な役割を担っています。現在、国際交流時代に対応したスペイン語教室をはじめとする34の教室、クラブなどが行われ、年々その活動は充実したものになってきています。また利用団体も増加傾向にあり、今後は一層の利用促進を図るとともに、町民の皆さんがそれぞれの立場で社会参加ができるような公民館にしていきたいと考えています。

町民と一体となつた行政を。

【行政・議会】



VOICE

いのうえ ぶえい
井上武栄さん
(区長会長・64歳)

房総半島の中でこれだけ美しい海岸はないと自慢できる町ですが、最近痛切に感じるのは、そんな素敵な場所から若者がどんどん出ていってしまうことです。

人口が増えないし、町の将来を背負う人々がいなくなっていくと思うと、寂しい気持ちになります。何とか、魅力的な働く場を作り出して、若者が定着する活気のある町になってほしいと思います。



町三役 (左から吉田収入役、大谷助役、滝口町長)



町議会



今、行政は“地方の時代”といわれています。自ら考え、自ら行い、つくるといった、知恵とアイデアと行動力がもっとも必要とされる時代を迎えているのです。

これはつまり画一行政から、個性化・多様化・特質化の行政への変換を意味しています。自主性や自立性を高め、地域の実情に対応して、住民生活に密接に関連する事務・事業の充実を図ること。さらに複雑多様化する町民の求

めに対処していくために、行政の役割分担を見直して、行政と民間との間や、国・県との間の効率的役割分担を図っていくこと。そして、これらを推進するために、21世紀を展望した、簡素で効率的な行政を目指して、行政の原点である“誠実で、開かれた、明るい、そして親切、公平な行政”を行うことが求められています。

今、御宿町では住民の対話とふれあいの場としての機能を持つ、時代を先

取りした新庁舎の建設を進めています。そして、町民が誇れる町民共有の文化施設として、さらには周辺地域の発展の拠点として、行政サービスの向上に努めていきます。

また、たくさんの行政課題を達成するために、今後も自主財源の確保や補助金の有効活用にも努めるとともに、事業の厳選と計画的な行政運営、さらには経費節減、職員の適正配置等に配慮を重ねていきます。

友情は海を越え、山を越えて

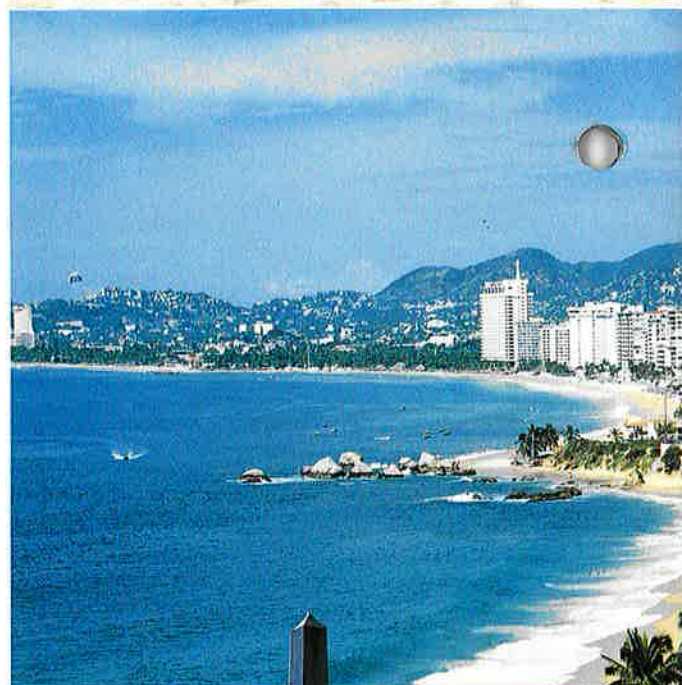
[姉妹都市]



VOICE

さいとうてるまさ
齊藤輝正君
(御宿中学校3年)

僕はこの御宿町が好きです。青い海、青い空、山々の緑に囲まれて生活できるからです。僕たちが大人になった時も、子供たちが泥んこになって遊べる、そんな町であつたらいいなと思います。御宿は夏になると、たくさんの観光客が訪れますが、もしここがビルだらけになってしまったら、わざわざ都会から人がやってくるでしょうか。きれいな空気と山々の緑が無くなった御宿には、何の魅力もありません。未来の御宿も今のように、自然がなくてはならないと思います。僕は、自然の中で親子や友だちが語りあい、笑顔の絶えない町を夢見ています。



日・西・墨三国交通発祥記念之碑



御宿と
アカプルコは

姉妹都市です。

アカプルコは国際的なリゾート
(写真) 昭和53年に来町した
メキシコ大統領

御宿の東寄り、岩和田の轟山の丘の上にあるメキシコ記念公園。素晴らしい眺望を誇るこの公園の中に通称「メキシコ記念塔」と呼ばれる高さ17メートルの塔があります。正式には「日・西・墨三国交通発祥記念之碑」といい、江戸時代初期、遭難したスペイン人たちが御宿の人々が助けたことに因んで、昭和3年に建立されたものです。

1609年(慶長14年)、フィリピン諸島総督ドン・ロドリゴ・デ・ピベロ・イ・ベラスコはその任期を終え、ガレオン船のサンフランシスコ号でメキシコ



[海と山の子交流]

●野沢温泉村



御宿町



太平洋で結ばれた友情が



白銀の世界でより深い絆に

昭和51年2月に初回交流会。夏一漁船で太平洋の荒波を、冬一雪の野沢温泉村でスキーを、両町村の自然と生活環境を体験し、心の交流を深めます

へ帰国途中、嵐に遭って岩和田・田尻海岸沖で座礁してしまいました。折からの暴風雨の中、村人たちは総出で救助にあたり、乗組員376人のうち317人を助け出しました。中でも若い海女たちは素肌で遭難者を温め、蘇生させたと伝えられています。

これが日本とスペイン、メキシコ修好の契機であり、御宿が昭和53年にアカプルコ(メキシコ南部ゲレロ州)と姉妹都市協定を結ぶきっかけとなりました。アカプルコは首都メキシコから南へ約430キロメートルの所にある、常

夏の国際的リゾート地。一年中マリンスポーツやゴルフ・テニス・乗馬・闘牛などが楽しめる、南国の楽園です。

昭和53年のメキシコ記念塔建立50周年記念式典には、メキシコのホセ・ロバス・ポルティエヨ大統領が御宿を訪れ「エルマーノ！（兄弟よ）私はやってきた」と笑顔で応え、歴史に培われた友情をさらに深めました。

私たちは、歴史的な偶然と、この町の先輩たちの素朴で暖かい心に感謝しながら、この友情を大切に守り育てていく義務があるのではないのでしょうか。

歴史・祭・文化財



秋祭りに奉納される高山田神楽

●祭り・行事

御宿の四季はさまざまな祭りや行事で彩られます。まず、1月1日に行われる「元旦歩こう会」。1月12日、春日神社の神事「初ごもり」。3月13日、真常寺のカン・の虫ふうじ「虚空蔵様」。5月下旬、この町のメインイベント「海開き」。6月29日～7月1日、浅間神社「七つ子参り」。7月7・8日、八坂神社「天王祭」。9月28・29日、春日神社・大宮神社秋祭り。10月1日、旧布施村豊年祭り。

豊漁や健康、安全や幸せを祈りながら、季節の中で人々は暮らしてきたのだと思います。昔から今に伝わるすてきな季節の習わし。私たちの暮らしの中からもまた新しい何かが生まれて、育っていくのかもしれない。



春日神社の秋祭り

●五倫文庫

明治35年9月、御宿を直撃した暴風雨で、小学校の校舎は倒壊し、子供たちはいくつかの寺にわかれて勉強していました。そんな状態が12年も続き、当時の伊藤鬼一郎校長先生は村民の手で新校舎建設を、と1日1戸5厘の日掛け貯金を提案。明治45年5月から5年間に渡る貯金が始まりました。また、次第に寄付金も集まるようになりました。けれども、その5年が過ぎても、日露戦争後の物価高騰の影響で建設資金が足りず、人々はさらに3年間、1日1銭の日掛け貯金を続けなければなりません。こうして大正3年9月、ようやく737坪の新校舎が完成したのです。その後、この話を聞いた佐倉連隊司令官・黒田善治少将は「五厘は五倫五常の五倫に通ずる。五倫の道を教える小学校の名にふさわしい。」と御宿小学校に五倫齋御宿小学校の名を送りました。





五倫文庫



伊藤校長はこのほか、初等教育の重要性を認識し、明治25年から毎年使用される教科書を保存。比較研究を行っていました。さらには、世界各国の初等教育の教科書の収集に乗り出しましたが、昭和7年1月、志なかばで66歳の生涯を終えました。けれどもその遺志は受け継がれ、世界各国から教科書が集められたのです。やがて、昭和24年、伊藤文庫と小学校で保管中の教科書を合わせた「五倫文庫」が創設されました。昭和50年に歴史民族資料館も



完成し、現在64か国3万2,000冊の教科書が収蔵されています。

また、西ドイツ・フランクフルトのホ



フマン博物館にも「五倫文庫コーナー」が設けられています。五倫文庫は今、研究調査に訪れる内外の人々の貴重な情報源であり、国際交流の舞台なのです。

●春日神社

古樹が生い茂る高台にある春日神社は、一の鳥居脇と二の鳥居から社殿に続く103段の石段の途中狛犬がいます。祭神は天兒屋根命。珍しい洋式の鳥銃や、大隈重信邸にあった御簾が保存されています。また、豊作と大漁を祈る人々から絵馬が奉納される、夷隅地方の名社です。



春日神社社殿

●真常寺

毎年3月13日に行われる“カンの虫封じ”で知られる真常寺。“虚空蔵様”と呼ばれるこの行事は毎年、子供の健康を願う大勢の人でにぎわいます。また、木造大日如来坐像や如意輪観音坐像など、貴重な仏像が安置されています。

●妙音寺

妙音寺は八坂神社、浅間神社、神明神社の別当寺であったと伝えられる寺で、本尊は美しい形を持つ阿弥陀如来坐像です。室町時代中期頃の作と伝えられる亀甲地双鶴鏡や、江戸時代初期の作と伝えられる蓬来鏡が保存されています。

●最明寺

御宿の地名の由来となった老松があったといわれる最明寺の境内には、高さ10メートル以上の夫婦銀杏の古木2本が向かい合って立っているほか、「月の沙漠」の作者・加藤まさをの墓があります。また、念仏や法要の調子をとる青銅製の双盤、鮮やかな涅槃絵も保存されています。



北条時頼の歌碑

●十王堂

十王堂は、その縁起書によれば仏の名号を唱える称名(唱名)念仏の道場として、妙音寺から移築されたたと伝えられています。堂内には閻魔大王やしょうずかのばば(三途河の婆)、秤などの木彫りがあります。

●その他の歴史・文化的遺産

これらの他にも、真常寺前の八幡神社に掲げられている「伊勢神宮参詣絵馬」(三絃を弾く女たちと参詣者の様子が描かれている)、江戸時代の正徳年間に建てられた「千人塚供養塔」(津波や台風の犠牲者を祀ったもの)、弘法大師像がある「堂坂薬師堂」(正面の壁に磨崖仏が彫刻されている)、牛が本尊の「月夜見神社」(石段わきの椿が美しい)など、御宿には古くて新しい、魅力がたくさんあります。御宿の意外な一面を発見しに、出かけてみませんか。

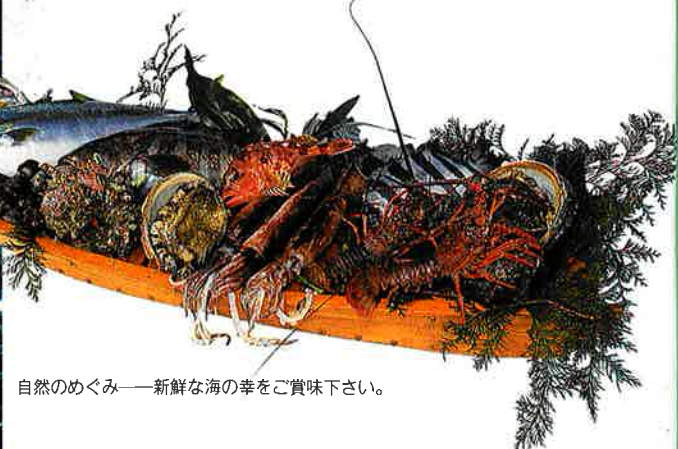
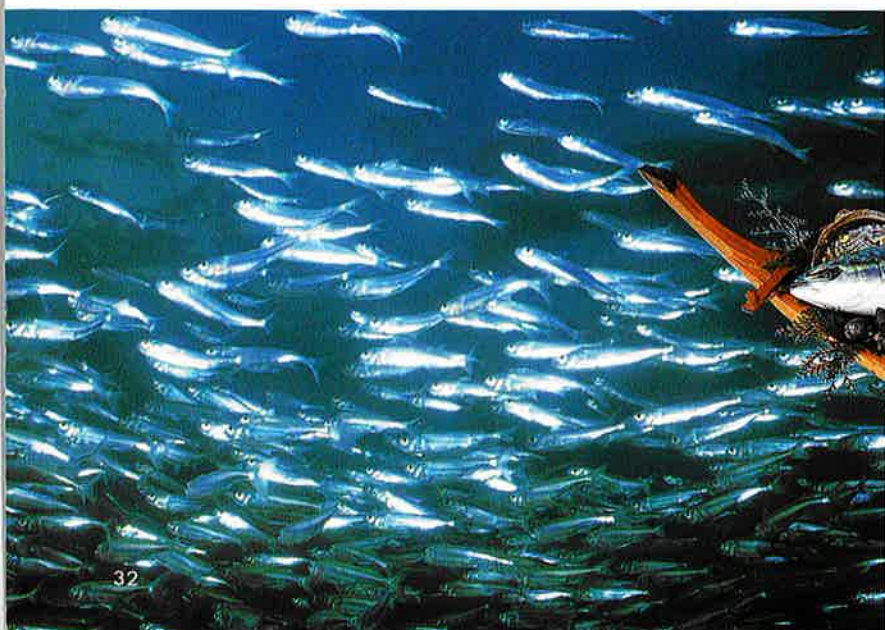


ブルメ族には
たまらない

毎月2と7のつく日に開かれる朝市



は、
あの味この味



自然のめぐみ——新鮮な海の幸をご賞味下さい。

数字で見る御宿の姿

〈資料編〉

(平成元年度)

<p>人口密度</p>  <p>1 km²に331人</p>	<p>家族</p>  <p>1世帯に3.3人</p>	<p>転入</p>  <p>0.8日に1人</p>	<p>転出</p>  <p>0.7日に1人</p>
<p>結婚</p>  <p>16日に1組</p>	<p>離婚</p>  <p>183日に1組</p>	<p>出生</p>  <p>7.2日に1人</p>	<p>死亡</p>  <p>4.2日に1人</p>
<p>火災</p>  <p>0件</p>	<p>交通事故</p>  <p>6.5日に1件</p>	<p>水道使用量</p>  <p>1人1日平均334ℓ</p>	<p>ゴミ</p>  <p>1日平均13.1トン</p>
<p>町職員</p>  <p>町民92人に1人 (2年10月1日現在)</p>	<p>教員</p>  <p>小学生15人に1人 中学生16人に1人 (2年5月1日現在)</p>	<p>商店</p>  <p>16世帯に1店</p>	<p>町税</p>  <p>1人当たりの負担93,379円</p>
<p>自動車</p>  <p>1世帯に1.3台</p>	<p>電話</p>  <p>1世帯に1.5台</p>	<p>救急車出動</p>  <p>2.5日に1件</p>	<p>町の台所</p>  <p>一般会計からの支出額 町民1人当たり295,115円</p>

地 勢

●自然と地勢

観光の町、御宿は房総半島の東南部に位置し、気候は極めて温暖です。西北、北、北東は丘陵地に抱かれ、東南は太平洋に面し、その海岸線は、変化に富んだ景勝地としてよく知られています。

●御宿町の位置と面積

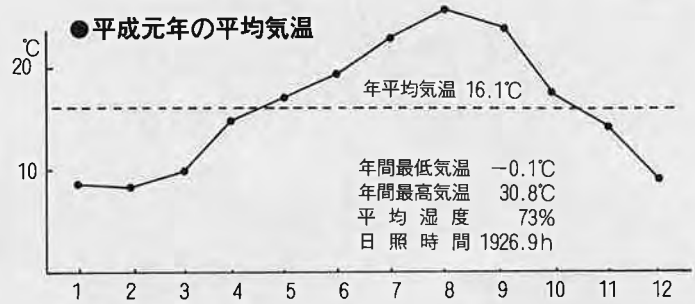
極東	東経 140度23分21秒
極西	東経 140度18分24秒
極南	北緯 35度10分10秒
極北	北緯 35度13分15秒
面積	25.05km ²



●年別気温・降雨量

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6℃	34.1℃	-4.4℃	2220.3mm
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
60	15.3	31.3	-3.2	1799.0
平成元	16.1	30.8	-0.1	2377.5

●平成元年の平均気温



●元年の月別気温・降雨量

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温		8.6	8.0	9.8	14.9	17.2	19.6	23.1	25.9	24.2	17.6	14.8	9.0
最高		19.5	16.9	19.4	21.4	24.4	27.0	29.9	30.8	29.8	24.6	23.8	19.2
最低		0.3	-0.1	1.5	6.6	10.3	12.6	16.5	21.6	17.8	10.0	4.7	2.1
降雨量		122.0	187.0	181.5	169.5	219.0	391.5	155.5	277.0	147.5	408.5	86.5	32.0

人 口

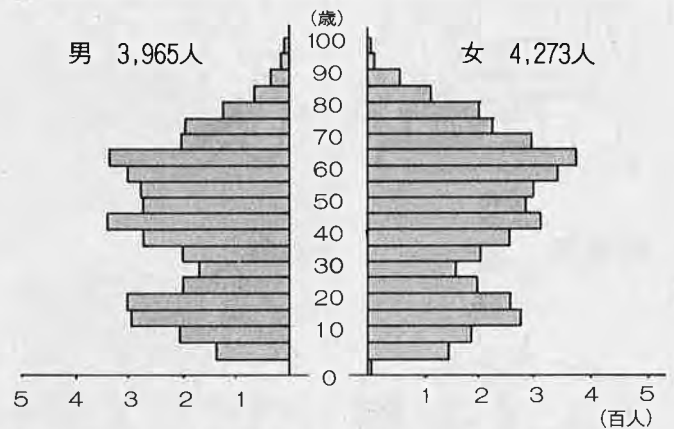
●行政区別世帯数と人口

(2. 10. 1)

区 分	世帯数	人 口		
		男	女	計
須 賀	322	432	469	901
浜	264	394	467	861
高山田	82	145	156	301
久保	347	554	621	1,175
新 町	427	592	676	1,268
六軒町	241	338	367	705
岩和田	430	675	751	1,426
実谷・七本	128	235	257	492
上布施	199	371	382	753
御 宿 台	28	27	30	57
合 計	2,468	3,763	4,176	7,939

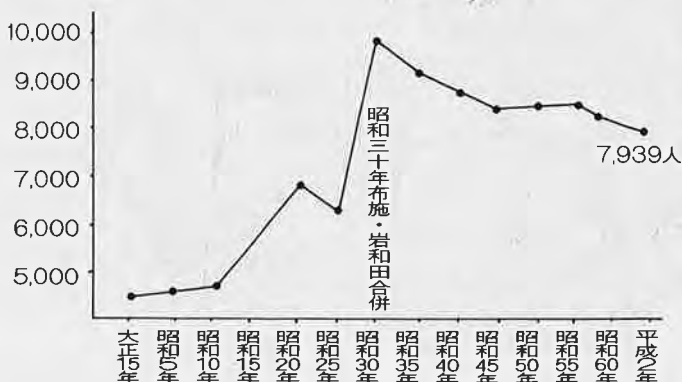
(国勢調査) (単位: 人)

●5歳階級別人口(平成2年4月1日現在) —住民基本台帳—



●人口の動き(国勢調査)

(人)



●人口の推移(国勢調査)

年 次	世帯数	人 口			1世帯平均人員	人口密度 人/km ²
		総数	男	女		
大正 15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448
昭和 5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339
60	2,452	8,267	3,948	4,319	3.4	330
平成 2	2,468	7,939	3,763	4,176	3.2	317

財 政

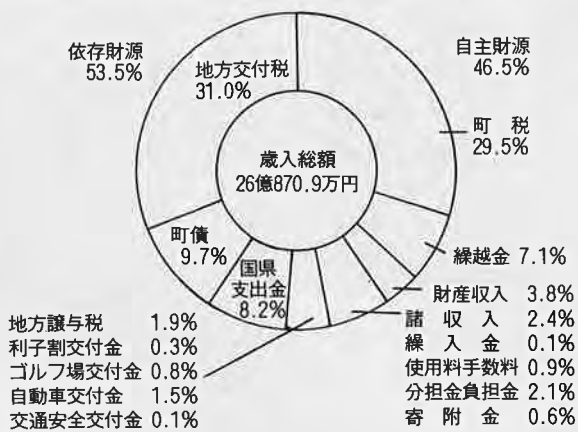
●平成元年度一般会計歳入決算

〔歳 入〕

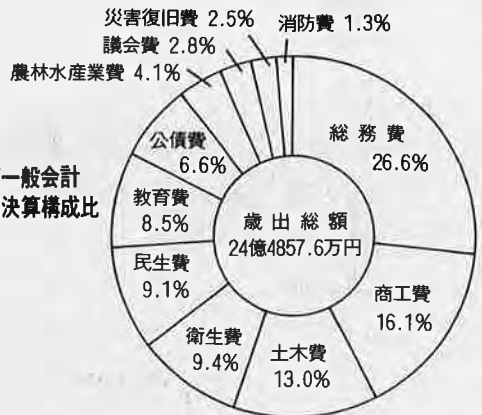
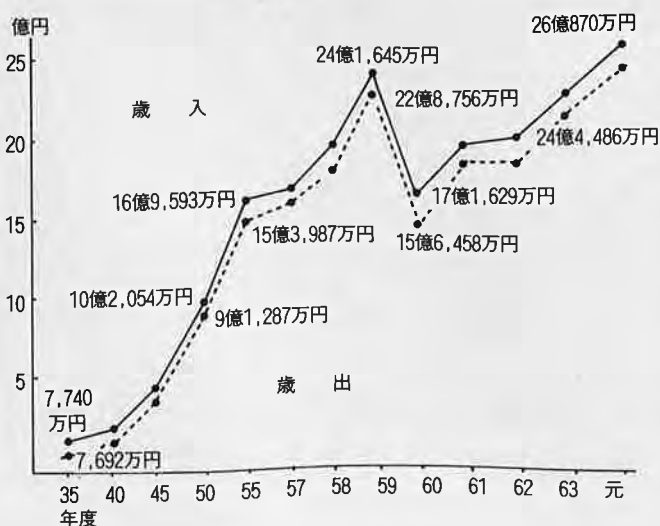
(単位：千円)

科目	年度	平成元年度	昭和63年度	比較	
		決算額①	決算額②	①-② ③	③/②
1. 町 税		769,256	649,178	120,078	18.5%
2. 地方譲与税		50,343	27,316	23,027	84.3
3. 利子割交付金		8,638	3,585	5,053	140.9
4. ゴルフ場交付金		21,089	19,658	1,431	7.3
5. 自動車交付金		39,656	38,748	908	2.3
6. 地方交付税		809,599	666,283	143,316	21.5
内 普 通		732,119	599,834	132,285	22.1
内 特 別		77,480	66,449	11,031	16.6
7. 交通安全対策特別交付金		1,767	1,870	△ 103	△ 5.5
8. 分担金・負担金		54,933	58,385	△ 3,452	△ 5.9
9. 使用料		7,269	7,508	△ 239	△ 3.2
10. 手数料		14,218	11,248	2,970	26.4
11. 国庫支出金		136,744	129,781	6,963	5.4
12. 県支出金		74,822	196,792	△121,970	△62.0
13. 財産収入		100,166	160,127	△ 59,961	△37.4
14. 寄 附 金		15,407	1,842	13,565	736.4
15. 繰 入 金		3,564	4,175	△ 611	△14.6
16. 繰 越 金		185,303	168,468	16,835	10.0
17. 諸 収 入		61,935	27,716	34,219	123.5
18. 町 債		254,000	169,600	84,400	49.8
合 計		2,608,709	2,342,280	266,429	11.4

●平成元年度一般会計歳入決算財源別構成比

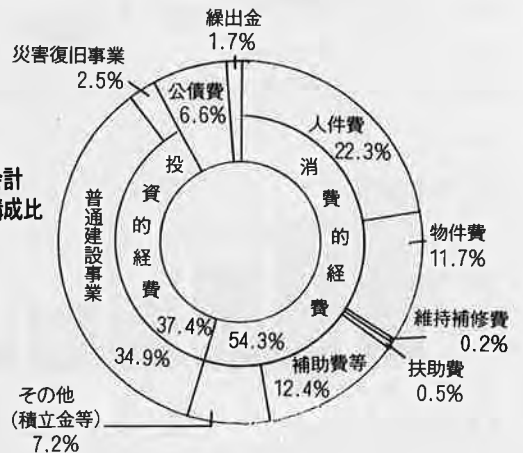


●一般会計歳入歳出決算額の推移



●平成元年度一般会計目的別歳出決算構成比

●平成元年度一般会計性質別歳出決算構成比



●平成元年度一般会計歳出決算

〔目的別歳出〕

(単位：千円)

科目	年度	平成元年	昭和63年	比較	
		決算額①	決算額②	①-② ③	③/②
1. 議会費		67,456	64,527	2,929	4.5%
2. 総務費		652,629	503,268	149,361	29.7
3. 民生費		223,533	211,476	12,057	5.7
4. 衛生費		230,829	289,577	△ 58,748	△ 20.3
5. 農林水産業費		99,356	191,422	△ 92,066	△ 48.1
6. 商工費		393,451	208,335	185,116	88.9
7. 土木費		318,544	245,431	73,113	29.8
8. 消防費		30,724	44,547	△ 13,823	△ 31.0
9. 教育費		207,948	203,214	4,734	2.3
10. 災害復旧費		62,099	42,243	19,856	47.0
11. 公債費		161,997	152,937	9,060	5.9
12. 合計		2,448,566	2,156,977	291,589	13.5

〔性質別歳出〕

(単位：千円)

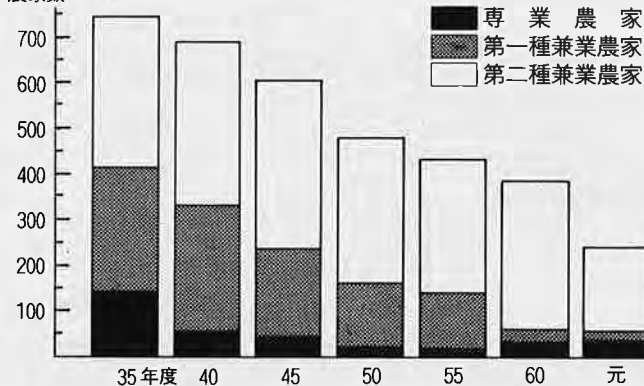
科目	年度	平成元年	昭和63年	比較	
		決算額①	決算額②	①-② ③	③/②
1. 消費的経費		1,329,986	1,160,337	169,649	14.6%
(1)人件費		546,869	530,716	16,153	3.0
(2)物件費		287,195	272,945	14,250	5.2
(3)維持補修費		4,276	5,000	△ 724	△ 14.5
(4)扶助費		12,284	9,997	2,287	22.9
(5)補助費等		302,379	259,197	43,182	16.7
(6)その他(積立金等)		176,983	82,482	94,501	114.6
2. 投資的経費		916,362	793,813	122,549	15.4
(1)普通建設事業		854,263	751,570	102,693	13.7
(2)災害復旧事業		62,099	42,243	19,856	4.7
3. 公債費		161,925	152,820	9,105	6.0
4. 繰入金		40,293	50,007	△ 9,714	△ 19.4
合計		2,448,566	2,156,977	291,589	13.5

産 業

●産業別就業者数

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年		55年		60年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産・養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4	703	17.8	552	14.4
第2次産業	鉱業、建設業、製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4	1,156	29.3	1,187	31.1
第3次産業	卸小売業、金融保険業、その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2	2,085	52.9	2,081	54.5
計		3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0	3,944	100.0	3,820	100.0

●農家数の動き



●農家の推移

年度	農家数 (戸)	増減 (戸)	農家人口 (人)	増減 (人)	一農家人口 (人)	経営耕地面積			
						総面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)
35	745	—	4,019	—	5.4	467	359	107	1
40	681	△ 64	3,459	△560	5.1	449	355	91	3
45	608	△ 73	2,882	△577	4.7	418	341	70	7
50	470	△138	2,204	△678	4.7	300	247	46	7
55	430	△ 40	1,941	△263	4.5	290	234	51	5
60	387	△ 43	1,667	△274	4.3	283	226	51	6
元	345	△ 42	1,432	△235	4.2	238	188	45	5

●年次別組合水揚高

(単位：千円)

種別	御 宿		
	62年	63年	元年
魚類	186,949	270,701	194,530
貝類	79,563	63,842	57,198
計	266,512	334,543	251,728

種別	岩 和 田		
	62年	63年	元年
魚類	490,452	525,872	539,041
貝類	187,664	203,016	137,820
計	678,116	728,888	676,861

●工業(製造業)の状況

年	事業所数	従業者数	年品出荷額
61	31	449	1,958
62	28	362	1,673
63	31	390	2,023

●商業の状況

(63.6現在)

産業中分類	項目	商店数	従業者数	年間商品販売額 (百万円)	売場面積 (㎡)
卸売業	計	7店	28人	857	—
織物、衣服身の回り品小売業		14	45	397	1,459
飲食料品小売業		70	232	2,587	3,073
自動車、自転車小売業		5	12	104	263
家具、建具、じゅうりょう小売業		16	36	254	488
その他小売業		42	154	1,877	1,517
小売業	計	147	479	5,219	6,804
計		154	507	6,076	6,804

観 光

●観光施設及び入込数

区分	年度	40年	45年	50年	55年	60年	63年	元年
観光客数 (人)	夏季	344,000	1,120,000	1,160,000	905,000	1,406,000	762,180	957,000
	年間	396,000	1,310,000	311,000	1,041,000	1,659,000	1,038,000	1,234,000
旅館(軒)		8	20	21	17	17	24	23
民宿(軒)		51	200	250	270	244	280	267
貸家貸間(軒)		108	250	120	117	115	50	40
海の家(軒)		26	33	32	32	31	29	29
駐車台数(有料)		1,307	12,512	15,151	18,018	31,346	25,452	34,385
御宿駅の収入(夏季)		19,591	51,389	74,019	89,195	140,748	83,984	97,229
観光収入(推計)		249,300	369,000	942,480	1,850,805	3,686,808	2,996,200	3,611,300
町の観光投入額(千円)		4,230	56,000	12,504	20,968	30,434	80,333	105,411
町営プール入場者数(人)		—	—	36,009	25,391	32,225	24,491	30,019

生活環境

●道路の現況

(2.4.1)

路線名		単位	町道	県道	国道	計		
路線	数	本	1,431	4	1	1,436		
実延長	長	m	239,759	10,813	3,754	254,326		
内訳	改良済延長	m	52,155	5,440	3,754	61,349		
	未改良延長	m	187,604	5,373	—	192,977		
内種別	橋梁延長	m	91ヶ所 537	117	14	668		
	隧道延長	m	9ヶ所 449	71	339	859		
幅員別内訳	改良済	13m以上	m	39	7	—	46	
		5.5m以上	m	14,845	5,433	3,754	24,032	
		5.5m未満	m	37,310	—	—	37,310	
	未改良	5.5m以上	m	—	—	—	—	
		3.5m以上	m	—	5,373	—	5,373	
		3.5m未満	m	187,565	—	—	187,565	
自動車交通不能	m	139,197	—	—	139,197			
路面別内訳	砂利道	m	171,102	—	—	171,102		
	舗装道	セメント系	m	4,527	84	339	4,950	
		アスファルト系	高級	m	—	7,826	3,415	11,241
			簡易	m	64,130	2,903	—	67,033
		計	m	68,657	11,258	3,754	83,669	

●消防の施設状況

2. 3.31

消防ポンプ車	7
水そう付ポンプ車	1
小型ポンプ	3
指揮広報車	1
防火水そう	82
消火栓	59

●防災無線(元年度末現在)

戸別受信機 1,870世帯
 固定系システム 27ヶ所
 移動系システム

基地局(制御器6台)	1局
陸上移動型、車携帯型	17局
シヨルダ—型	8局
携帯型	3局

●交通事故発生件数の推移

(1.1~12.31)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
60		49	0	71
61		31	1	39
62		54	1	82
63		50	0	84
元		56	0	90

●消防団

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1	3	15	8	9	45	174	255

●ゴミ収集の状況

年度	区分	可燃物	不燃物	合計	焼却日数
62		3,218 ^t	544 ^t	3,762 ^t	155 ^日
63		3,484	654	4,138	165
元		3,165	1,620	4,785	168

●水道ダイジェスト(平成元年度決算から)

区分	単位	元年度	63年度	増減
年度末給水人口	人	4,637	4,539	98
年度末給水戸数	戸	1,791	1,639	152
年間取水量	m ³	705,450	601,855	103,595
年間給水量	m ³	668,690	577,283	91,407
年間使用水量	m ³	565,249	505,770	59,479
1カ月平均給水量	m ³	55,724	48,107	7,617
1カ月平均使用水量	m ³	47,104	42,148	4,956
1日最大給水量	m ³	4,700	4,470	230
1日最大使用水量	m ³	4,315	4,139	176
1戸1カ月平均使用水量	m ³	26.3	25.7	0.6
1人1日平均使用水量	ℓ	334	305	29
月平均給水収益	千円	9,112	8,075	1,037
給水原価	円・銭	239.51	273.43	△33.92
資本費	円・銭	146.09	178.67	△32.58
施設利用率	%	30.0	26.4	3.6

●し尿

(元年度 夷隅郡環境衛生組合)

1.処理計画人口(人)	8,245
(1)非水洗化人口(人)	4,591
(1)計画収集人口(人)	4,087
(1)自家処理人口(人)	504
(2)水洗化人口(浄化槽人口)(人)	3,654
2.し尿収集の状況(kℓ)	4,132
(1)し尿(kℓ)	1,941
(2)浄化槽汚泥(kℓ)	2,191
収集職員数(人)	3
バキューム車(台)	1

福祉

●国民年金受給者の状況

種類別	件数・金額	件数	金額(千円)
老 齢 年 金		1,011	353,062
通 算 老 齢 年 金		166	27,955
障 害 年 金		37	29,163
母 子 年 金		5	4,290
寡 婦 年 金		6	2,506
老 齢 基 礎 年 金		188	72,764
障 害 基 礎 年 金		58	47,362
障 害 基 礎 年 金 (20歳前)		19	13,153
遺 族 基 礎 年 金		9	5,622
合 計		1,499	555,877
福 祉 年 金		186	50,850

●国保加入者及び給付状況

種別 年度	世帯数	加 入 者 数				医療費(町支弁額)(千円)			
		一般	退職	国保老人	合計	一般	退職	国保老人	合計
62	1,630	3,425	305	649	4,379	243,011	39,873	243,444	526,328
63	1,648	3,298	320	663	4,281	250,903	46,184	276,709	573,796
元	1,675	3,165	340	682	4,187	253,091	51,088	312,759	616,938

●老人保健加入者及び給付状況

(千円)

年 度	加入者数	医療費(町支弁額)
62	972	362,251
63	987	401,988
元	1,010	451,548

保健

●胃がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受 診 率
63	2,500 人	410 人	16.4%
元	2,111	771	36.5
2	2,137	631	29.5

●胸部検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受 診 率
元	2,004 人	1,246 人	62.2%
2	2,757	1,594	57.8

●基本健康診査受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受 診 率
63	1,322人	757 人	57.3%
元	1,735	842	48.5
2	1,708	708	41.5

●子宮がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受 診 率
63	2,096 人	214 人	10.2%
元	1,459	284	19.5
2	1,474	318	21.6

●乳がん検診受診状況

年 度	対象者数	受診者数	受 診 率
63	2,096 人	218 人	10.4%
元	1,551	289	18.6
2	1,485	261	17.6

教育・文化

●町立小・中学校の児童・生徒・教職員数

(2.5)

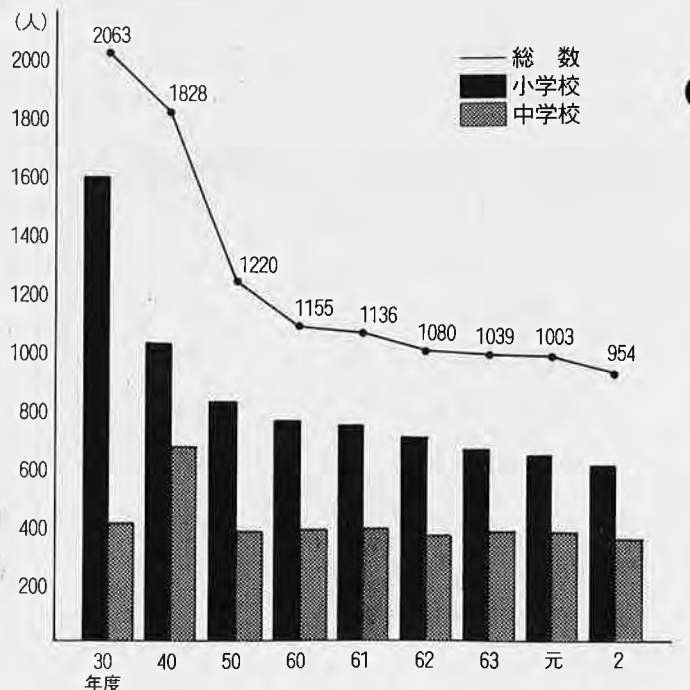
学校名	児童生徒数	学級数	職員数	事 務 栄養職員	調理員	用務員
御 宿 中	357	11(1)	22	1	3	
御 宿 小	332	13(2)	18	2	4	
岩和田小	99	7(1)	12	1		
布 施 小	166	7(1)	11	1		1
計	954	38(5)	63	5	7	1

●社会教育施設利用状況

(人)

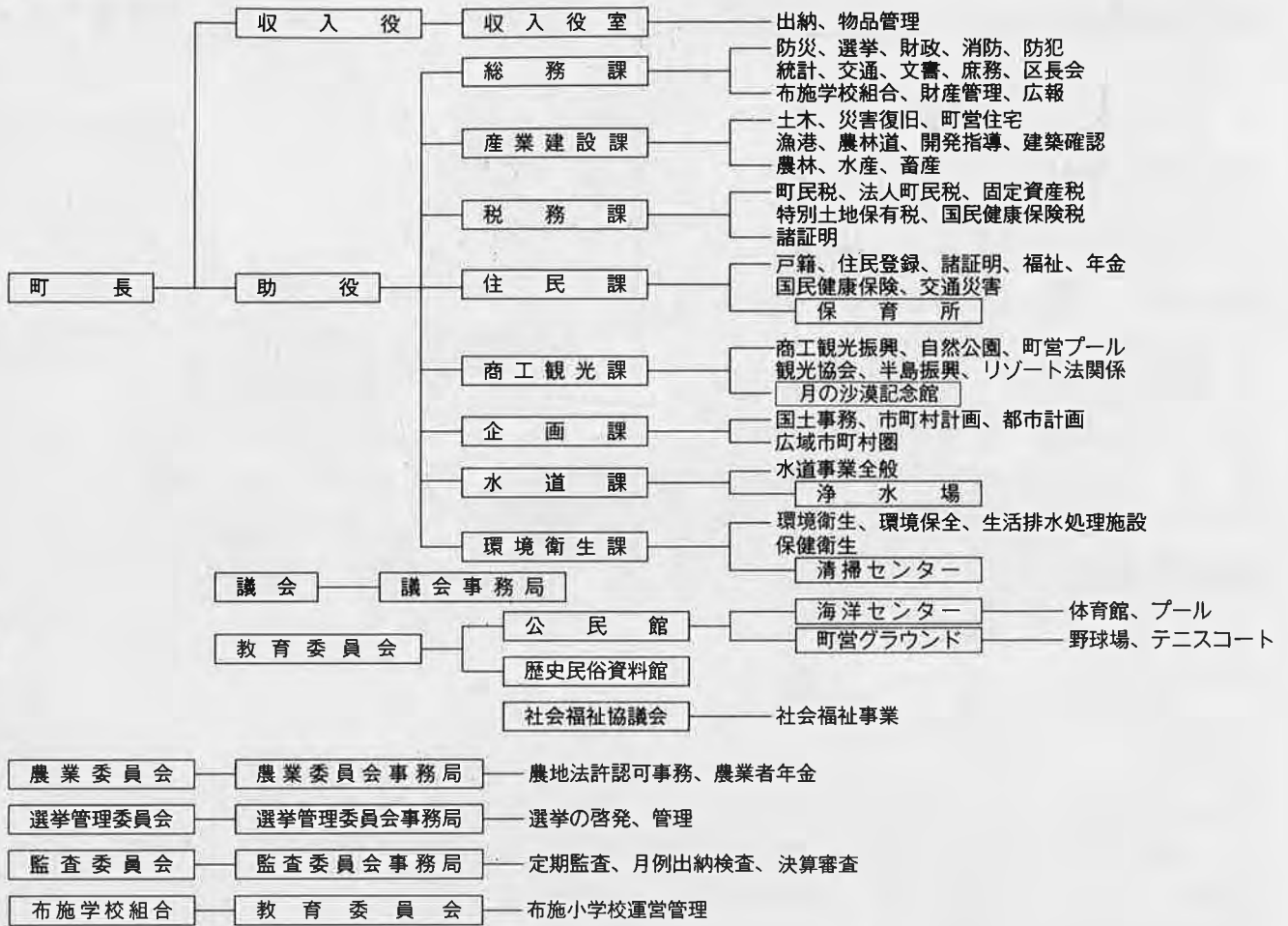
年 度	公 民 館		資 料 館		海洋センター体育館		同 プール	
	一 日 平均	利 用 者 数 間	一 日 平均	利 用 者 数 間	利 用 者 数 日	利 用 者 数 間	一 日 平均	利 用 者 数 間
62	111.6	33,703	7.6	2,301	173	51,376	94	12,195
63	107.5	32,358	7.2	2,164	169	49,612	142	12,921
元	102.5	31,061	8.4	2,530	167	48,982	137	13,056

●児童・生徒数の推移



行政・議会

●行政組織の状況



●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務執行者)	大地重直	昭和30. 3. 31	昭和30. 5. 15
1	井上文吉	◇ 30. 5. 16	◇ 42. 5. 14
2	岩井敏夫	◇ 42. 5. 15	◇ 54. 5. 14
3	高梨秀治	◇ 54. 5. 15	◇ 62. 5. 14
4	滝口栄蔵	◇ 62. 5. 15	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30.10.18	昭和38.10.17
2	岩井敏夫	◇ 39. 1.10	◇ 42. 4.17
3	佐藤清司	◇ 42.12.20	◇ 45.10.31
4	浅野興典	◇ 47. 4. 1	◇ 54. 5.14
5	池田覚道	◇ 55. 3. 1	◇ 62. 5.14
6	大谷良司	◇ 62. 6.15	在任中

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29. 2.13	昭和30.10.17
2	佐藤清司	◇ 30.10.18	◇ 42.12.19
3	浅野興典	◇ 42.12.20	◇ 47. 3.31
4	和田正美	◇ 47. 4. 1	◇ 54. 5.14
5	岩瀬剛	◇ 54. 7. 1	◇ 62. 5.14
6	吉田庸二	◇ 62. 6.15	在任中

●歴代議長(町村合併後)

氏名	就任年月日	退任年月日
吉野 要	昭和30. 3. 31	昭和32. 9. 30
浅野 航海	◇ 32. 10. 1	◇ 34. 9. 30
新井 清治	◇ 34. 10. 1	◇ 40. 9. 30
関 龍雄	◇ 40. 10. 1	◇ 44. 9. 30
中村 喜一	◇ 44. 10. 11	◇ 48. 10. 31
江沢 富士松	◇ 48. 12. 4	◇ 50. 9. 30
岩崎 栄一郎	◇ 50. 10. 1	◇ 54. 9. 30
石田 行雄	◇ 54. 10. 1	◇ 56. 9. 30
井上 泰爾	◇ 56. 10. 1	◇ 58. 9. 30
井上 浩一	◇ 58. 10. 1	◇ 60. 3. 12
白鳥 時雄	◇ 60. 4. 16	◇ 62. 9. 30
関野 正治	◇ 62. 10. 1	平成元. 9. 21
佐藤 高二	平成元. 9. 21	在任中

●歴代副議長(町村合併後)

氏名	就任年月日	退任年月日
渡辺 胤生	昭和30. 3. 31	昭和30. 9. 30
市東 三郎	◇ 30. 10. 1	◇ 32. 9. 30
新井 清治	◇ 32. 10. 1	◇ 34. 9. 30
岩崎 栄一郎	◇ 34. 10. 1	◇ 40. 9. 30
中村 喜一	◇ 40. 10. 1	◇ 44. 9. 30
江沢 富士松	◇ 44. 10. 1	◇ 48. 12. 3
江沢 一雄	◇ 48. 12. 4	◇ 52. 9. 17
石田 行雄	◇ 52. 9. 17	◇ 54. 9. 30
井上 泰爾	◇ 54. 10. 1	◇ 56. 9. 30
貝塚 徳治	◇ 56. 10. 1	◇ 58. 9. 30
藤井 昇	◇ 58. 10. 1	◇ 60. 9. 30
関野 正治	◇ 60. 10. 1	◇ 62. 9. 30
佐藤 高二	◇ 62. 10. 1	平成元. 9. 21
君塚 秀雄	平成元. 9. 26	在任中

●課別職員数

(2. 10. 1)

課室名	職員数		
	総数	男	女
収入役室	2	1	1
総務課	11	8	3
企画課	2	2	0
産業建設課	9	9	0
住民課	10	5	5
税務課	7	6	1
商工観光課	4	4	0
水道課	6	5	1
環境衛生課	13	11	2
農業委員会	1	1	0
議会事務局	2	2	0
公民館	5	4	1
保育所	18	0	18
中学校・共同調理場	7	0	7
合計	97	58	39

町内の官公署・団体施設所在地

●役場関係		市外局番 0470
御宿町役場	久保2200	☎68-2511
公民館	◇ 2200	☎68-2947
歴史民俗資料館	◇ 2200	☎68-4311
月の沙漠記念館	六軒町505-1	☎68-6389
御宿町児童館	新町419	☎68-4542
岩和田児童館	岩和田788	☎68-4392
社会福祉協議会	久保2200	☎68-2511
御宿海洋センター	◇ 1135-1	☎68-4143
清掃センター	◇ 1041	☎68-4613
浄水場	実谷519	☎68-4855
町営グラウンド(管理棟)	久保1135	☎68-4794
●学校施設		
教育委員会	久保2200	☎68-6283
御宿保育所	久保2180	☎68-2459
岩和田保育所	岩和田926	☎68-2944
御宿小学校	久保2232	☎68-2009
岩和田小学校	岩和田1703	☎68-2254
布施小学校	上布施909	☎68-2437
御宿中学校	新町68	☎68-2101
県立御宿家政高等学校	久保1511	☎68-2911
●警察		
駅前駐在所	須賀188	☎68-2100
六軒町駐在所	六軒町488	☎68-2719
布施駐在所	上布施875	☎68-4499
●その他		
御宿駅	須賀191	☎68-2053
御宿郵便局	新町397	☎68-2871
布施郵便局	上布施1400	☎68-2870
御宿町漁業協同組合	浜2164	☎68-2611
岩和田漁業協同組合	岩和田945	☎68-2011
夷隅中央農協御宿支所	須賀167	☎68-2424
運輸省御宿航空標識所	岩和田1171-3	☎68-2654
御宿町観光協会	久保2200	☎68-2414
御宿町体育協会	◇ 2200	☎68-2947
御宿町商工会	新町417-22	☎68-2818
御宿町商店振興会	◇ 417-22	☎68-2818
御宿町民宿組合	須賀191	☎68-2325
御宿町旅館組合	◇ 191	☎68-4419

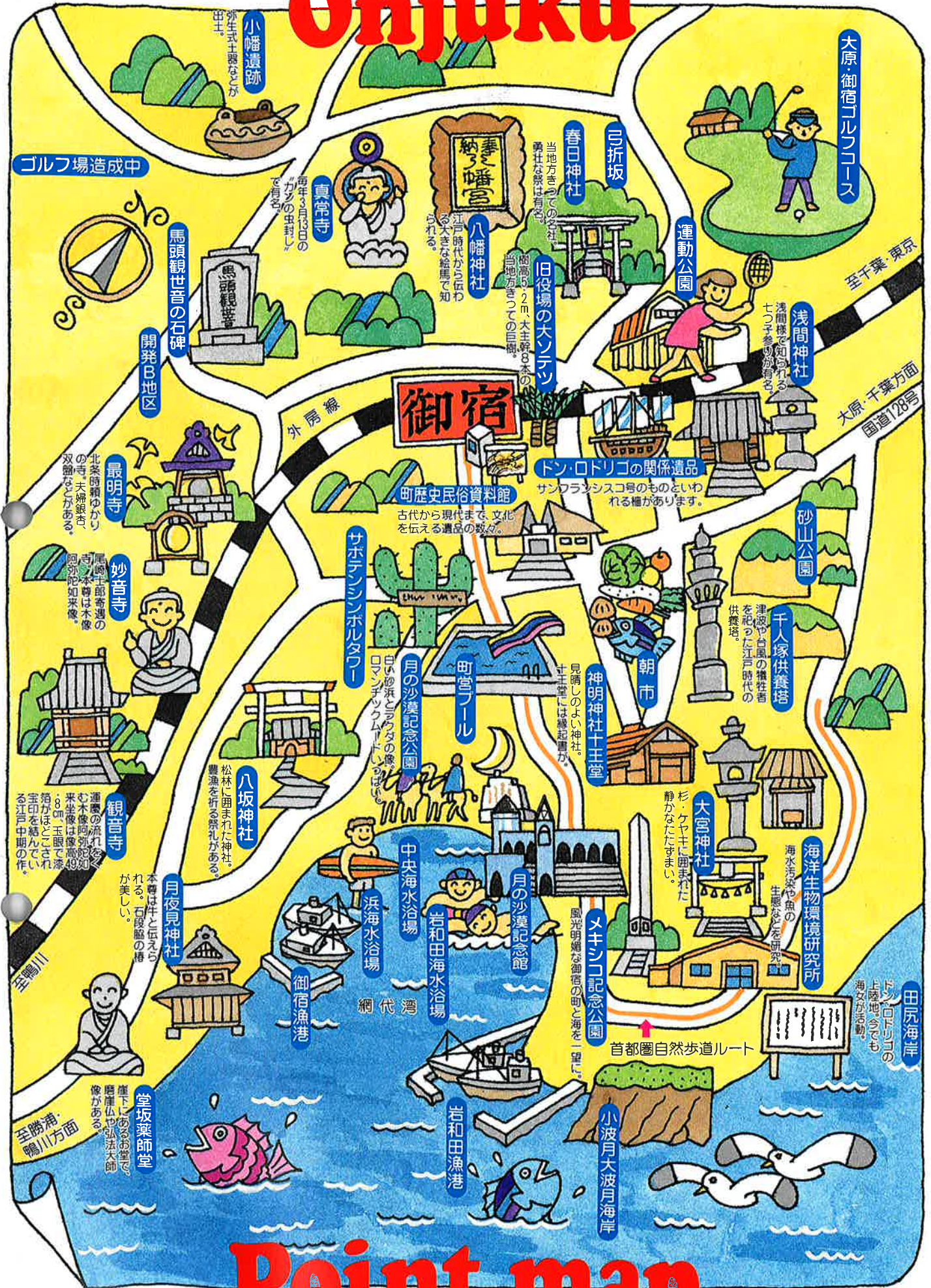
指定文化財

区分	番号	名称	所在地	所有者	指定年月日
県指定	1	ドン・ロドリゴ上陸地	岩和田626	御宿町	41.12.2
町指定	1	ドン・ロドリゴ関係遺品	久保1,916	岩瀬 禎之	49.3.27
◇	2	木造阿弥陀如来坐像	浜572-1	妙音寺	◇
◇	3	亀甲地双鶴鏡	◇	◇	◇
◇	4	白銅鏡	◇	◇	◇
◇	5	木造大日如来坐像	上布施1,474	真常寺	◇
◇	6	木造如意輪観音坐像	◇	◇	◇
◇	7	十王堂縁起	六軒町	十王堂	◇
◇	8	最明寺夫婦銀杏	須賀668	最明寺	53.3.27
◇	9	旧役場大蘇鉄	◇ 160	御宿町	◇
◇	10	双盤	◇ 668	最明寺	54.6.27
◇	11	小幡神楽囃子	上布施小幡区	保存会	57.6.29
◇	12	高山田神楽囃子	高山田区	保存会	57.9.28
◇	13	千人塚供養塔	新町千人塚	妙昌寺	59.1.11
◇	14	閻魔胎内像・十王像	六軒町	十王堂	◇
◇	15	伊勢参宮絵馬	上布施	八幡神社	◇
◇	16	真常寺石塔	上布施1,474	真常寺	◇
◇	17	木造阿弥陀如来及び両脇侍律像	六軒町	十王堂	60.2.12
◇	18	木造阿弥陀如来坐像	浜618-1	観音寺	◇
◇	19	木造傳祐上人坐像	須賀668	最明寺	◇
◇	20	紙本著色大田喜藩陣列之図	久保2,200	御宿町	61.1.14
◇	21	旧布施村絵図	実谷	実谷区	62.2.19
◇	22	千箇寺参御首題帳	上布施1,800	吉野 信	◇
◇	23	孝女竹永志保の碑	上布施827	上布施区新宿	62.10.27

災害時の避難場所

名称	所在地	☎
御宿小学校	久保2085	68-2009
御宿中学校	新町68	68-2101
岩和田小学校	岩和田1075	68-2254
岩和田青年館	◇ 788	68-4392
サンドスキー場(避難集合地)	◇ 1354	
布施小学校	上布施909	68-2437
実谷区民館	実谷586	68-5970
八坂神社(避難集合地)	須賀525	
御宿家政高校	久保1551	68-2911
B&G海洋センター体育館	◇ 1135	68-4143

Onjuku



ゴルフ場造成中

大原・御宿ゴルフコース

春日神社

弓折坂

運動公園

浅間神社

御宿

ドン・ロドリゴの関係遺品

町歴史民俗資料館

砂山公園

千人塚供養塔

朝市

神明神社十王堂

大宮神社

海洋生物環境研究所

田尻海洋

首都圏自然歩道ルート

小波月大波月海岸

岩和田漁港

中央海水浴場

浜海水浴場

御宿漁港

月夜見神社

観音寺

堂坂薬師堂

妙音寺

最明寺

馬頭観世音の石碑

サボテンシンボルタワー

町宮プール

月の沙漠記念公園

八幡神社

真言寺

小幡遺跡



至千葉・東京

大原・千葉方面
国道128号

外房線

至勝浦・鴨川方面

Point map

